

「農業振興に向けた 多面的機能の発揮に関するセミナー」を開催

柏崎周辺農業水利事業所

平成 28 年 2 月 4 日 (木) 13:30～17:00
に柏崎土地改良区会議室において、柏崎
周辺農業水利事業所と一般社団法人地
域環境資源センターの主催で、「農業振
興に向けた多面的機能の発揮に関する
セミナー」を開催しました。

本セミナーは、国営事業および関連事
業により生み出された農業生産基盤が、
有効に活用され、多面的機能支払等の各
種施策と連携して、地域の農業振興や担
い手の育成を図ることを目的としてい
ます。当日は、柏崎市と刈羽村における
多面的機能支払の活動組織の代表者、国
営事業関係機関などから 65 名が出席し
ました。

はじめに、国営事業所の鈴木所長から、
「産業としての農業振興と農村地域の
活性化は車の両輪。多面的機能支払交付
金を活用し、地域を守り、よりよい柏崎
刈羽をつくっていきましょう」と挨拶があり
ました。次に、センターの太田信介氏(元
農林水産省農村振興局長)が進行役とな
り、参加者は各人が、担い手農家や高校
生、会社員の妻、コンビニ経営者、高齢
者などの役になりきり、地域の未来像や
農地・水組織の運営方法、農業振興策に
ついて自由に意見を披露し、農業に直接
携わっていない人や活動組織が地域農
業の発展のために何をすべきかを模索
しました。



太田氏によるワークショップ



相澤氏の講演(地域活動意識の向上について)



出席者全員が議論に参加しました

また、このような地域活動には、地域経済の活性化も不可欠であるため、先進事例として「儲かる農業、町おこし」を実践している、ながの軽トラ市実行委員会事務局長の相澤啓一氏から地域活動意識の向上をテーマに講演が行われました。

参加者からは、「女性の強みを生かし、地域を元気に」「地域を守ることは、農業を守るのと一緒にであると気付かされた」といった声や、「出た意見は否定しない。見える化をする」「地域内での話し合いの仕方の参考になった」などの活動組織の運営面で参考となったとの意見が多く聞かれ、活発なセミナーとなりました。

グループによるワークショップのようす

